

平成16年 1 月13日

各 位

会 社 名 キ ュ ー ピ ー 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 山 轟 介
(コード番号 2809 東証第1部)
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 佐 々 木 克 彦
電 話 番 号 0 3 - 3 4 8 6 - 3 3 3 1

キューピーグループの新中期経営計画について

当社はこのたび、平成16年11月期からの3年間を対象とする当グループの中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の基本方針・重点戦略

前中期経営計画(対象期間は平成13年11月期からの3年間)においては、当グループの事業領域を明確にし、得意な分野に経営資源を集中することにより、経営の安定と成長を同時に実現させることを目標(基本方針)といたしましたが、当中期経営計画ではこの基本方針を一層強く推し進めることとし、ナンバーワン・オンリーワン商品の拡大と創出に集中することで事業価値(技術力やブランド力、コスト競争力などを総合した事業毎の市場競争力)の最大化を図ることを目指してまいります。

また、これを具体的に実践していくために、まずは企業体質の強化戦略として お客様視点の追求、グループ経営の強化、人材の育成に取り組むとともに、事業戦略ではコア事業の拡充、周辺事業の発展、育成分野の軌道化に力を注いでまいります。更に、企業にとって欠かすことのできない社会的責任に関しては、特に環境への貢献とコンプライアンスの徹底を進めてまいります。

2. 中期業績数値計画

	平成15年度実績	平成18年度計画
売 上 高	4,370億円	4,600億円
営 業 利 益	183億円	193億円
経 常 利 益	175億円	188億円
当 期 純 利 益	87億円	91億円
株主資本利益率(ROE)	7.4%	6.6%

(注)表示単位未満の端数を四捨五入して表示しています。

3. 目標達成に向けた各事業の基本戦略

(1) マヨネーズ・ドレッシング事業

お客様の志向に沿った商品の開発・育成と積極的なメニュー提案活動の継続により、市場の活性化と拡大を図り、当グループの基盤事業として今後も安定成長を図ってまいります。

中期的な育成分野としては、今後の市場成長が見込まれる中国での事業展開のほか、年々拡大を続ける中食分野に向けた小袋市場の開拓を押し進めてまいります。

(2) フルーツ加工・調理食品事業

既存のナンバーワン・オンリーワン商品への集中特化を進めていくとともに、これまで培ってきたフルーツ加工技術やソースのブレンド技術、原料の調達力などを活かし、より付加価値の高い差別化商品を生み出していくことにより、市場競争力を高めてまいります。

なお、従来の「缶詰・レトルト事業」をこのたび「フルーツ加工・調理食品事業」の呼称に改めることといたします。

(3) タマゴ事業

独自技術に裏打ちされた差別化商品の拡大と創出に努めるとともに、家庭用ルートや料飲店等の業務用市場への展開を推進し、売上と利益の拡大を図ってまいります。

液卵、凍結卵および乾燥卵等のタマゴ素材品分野については、昨年10月に実施した組織再編（生販一体化）により、キューピータマゴ株式会社（連結子会社）を中心に市場の変化に即応した迅速な事業展開を進めてまいります。

(4) ヘルスケア事業

医療用食品を当事業の中核と位置付けて流動食などの拡大に注力するほか、調理加工技術を活かしたユニットカロリー食などの積極的展開や、幼児向け、高齢者・シニア向け商品の拡充を進めることにより、売上と利益の拡大を図ってまいります。

販売面では、病院・施設やドラッグストア、量販店、給食ルートなど、商品別の販路の開拓を進めてまいります。

(5) 野菜とサラダ事業

当事業が対象とする惣菜市場は今後も安定した成長が見込まれますが、デリア食品株式会社（連結子会社）を中心に積極的な提案型の営業活動を継続し、事業拡大と収益向上を図ってまいります。

中核となる惣菜、カット野菜では、広域対応が可能な生産体制に加え、生販一体化で強化された地域密着でのスピーディな展開力を武器に、新たな市場を開拓してまいります。

(6) 物流システム事業

全国規模で4温度帯の展開力を備えている強みを活かし、地域毎の市場環境に合った物流システムの提案営業を推進するとともに、グループ再編や情報システムの再構築など、事業効率の向上のための施策を適宜講じてまいります。

【ご参考】

<事業領域別の売上高計画>

	平成15年11月期実績	平成18年11月期計画
マヨネーズ・ドレッシング事業	1,114億円	1,168億円
フルーツ加工・調理食品事業 (旧 缶詰・レトルト事業)	516億円	527億円
タマゴ事業	822億円	875億円
ヘルスケア事業	145億円	160億円
野菜とサラダ事業	973億円	1,012億円
物流システム事業	800億円	858億円
合計	4,370億円	4,600億円

(注) 表示単位未満の端数を四捨五入して表示しています。

<単体の業績数値計画>

	平成15年11月期実績	平成18年11月期計画
売上高	2,690億円	2,430億円
営業利益	106億円	90億円
経常利益	112億円	92億円
当期純利益	68億円	53億円
株主資本利益率(ROE)	6.3%	4.4%

(注1) 表示単位未満の端数を四捨五入して表示しています。

(注2) タマゴ素材品(液卵、凍結卵、乾燥卵等)の販売業務を平成16年11月期からキューピータマゴ株式会社(連結子会社)へ移管したことにより、売上高で370億円程度、営業利益で5億円程度の減少を見込んでおります。

以上